



町を彩るイルミネーション(左)と歴史を感じさせる蔵通り

歴史と流行が マッチした若桜町

昔ながらの雰囲気と 若者の心つかむ魅力

城下町の厳肅な雰囲気と若者の流行を融合した町・若桜。人口約3千人の小さな町だ。若桜宿という城下町の名残をとどめた街並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。駄菓子屋さんや昔ながらの和菓子販売しているお店がある。

そんな昔ながらの雰囲気を残す町だが、近年、若者に人気の抹茶を使用したカフェや、ジビエなどの特産品を活用した「飯屋さん」が増えている。また、毎年冬になると若桜

わかさぎくえん 若桜学園新聞

学校概要



- 【学校名】若桜町立若桜学園
- 【所在地】若桜町浅井289
- 【校長名】小林俊介
- 【児童生徒数】児童77人、生徒38人
- 【沿革】2012(平成24)年 若桜小学校と若桜中学校が一緒になり小中一貫校「若桜学園」開校。2022(令和4)年6月 10周年記念行事を開催
- 【教育目標】若桜を愛し つながり高め合い 自己実現を目指すたくましい子どもの育成
- 【校訓】自ら立て 正義に立て 社会に立て



通常版の若桜鬼ヶ城跡御城印(左)プロジェクトにて作成した御城印の完成予定デザイン。鬼ヶ城御城印の特別限定仕様として、若桜町観光協会にて販売される予定(23年2月より販売予定)

鬼ヶ城の魅力PR

若桜学園9年生は2022年10月から、若桜町観光協会からの依頼を受けて、国指定史跡・若桜鬼ヶ城跡御城印の限定特別版の制作を始めた。町をより良い町にするためには、どうしたらいいかという疑問を、町内の子どもたちにも考えてもらいたいという目的で行われている活動の一環。

鬼ヶ城跡は08年3月に国指定史跡になり、17年4月には続日本百名城に認定された。そのため町は、町外から来る観光客に少しでも鬼ヶ城の良さを知って

特別版御城印のデザイン考案

今回活動では町の活性化を目的とし、町外の人に、町の歴史や鬼ヶ城の歴史と触れ合ってもらいたいという目的で、地域と触れ合う活動に限らずさまざまなところで重要になってくる。

(中田陽斗 柄本侑大 山根颯太)

9年生が作った新聞です



水に映る美しい若桜学園

縦のつながりを大切に

若桜学園は、数少ない文化的な建物の造りの学校で、ほかの学校にはない外観になっている。小学1年生から中学3年生までの115人が学んでいる。

行事には全校で行う全校運動会がある。最高学年が下級生をひっぱること、他学年との縦のつながりを大切にしている。

2022年で若桜学園は創立10周年を迎え、10周年記念行事が6月に行われた。

全学年がそれぞれ考え

若桜学園開校10周年記念行事「つながる-WAになってKA~S A I~」が2022年6月18日、行われた。午前中は2~9年生による出し物があり、魚釣りやワークショップ、ミニ祭り、お化け屋敷、フォトスポット、テレビゲーム大会やトランプロボピクスなどが繰り広げられ、それぞれのクラスで個性豊かなクラスメ

多彩な催しで大成功 昨年6月に10周年記念行事



色別チームで団結

若桜学園の行事の一つである学習発表会が2022年11月3日、開催された。同校では学年の枠を超えて、他学年との活動を行うため、赤・青・黄・緑の4色のチームに分かれ、色別班で活動している。

今年度の学習発表会は、前年度と同様、新型コロナウイルス拡大防止の観点から、全校合唱がでないため、色別ごとの合唱を行った。

合唱の練習は8年生(中学2年)と9年生(同3年)が中心となり、事前に計画を立てて本番に向けて取り組んだ。本番では1年生から9

美しい声色、息ピッタリ



来年度も頑張る!

▲赤青黄緑の色別縦割りチームによる合唱
▲運動会応援をするタケキキ(森岡岳大さん)



運動会の色別チーム記念写真

若桜駅伝部に花開く

目標達成 男女とも県大会出場

若桜学園駅伝部は2022年10月13日、東部駅伝で男女アベックとして初の県大会出場を決めた。男子は全大会出場を決めた。男子は全1位のチームに贈られる「いなば賞」も獲得し、チームの目標を達成することができた。

中学生38人という少ない人数の中から結成された駅伝部。6月終わりから練習を始めた。目標に向かって走り込んだ駅伝部員と、一緒に走った先生の先生が「丸となった1区を走ったキャプテンの期待が高まる。



男女ともに県大会を決めた駅伝部員